

展示コーナー資料紹介
「千葉県ゆかりの文学」

千葉県立東部図書館
TEL 0479-62-7070
PC・URL <http://www.library.pref.chiba.lg.jp>
携帯URL <http://www.library.pref.chiba.lg.jp/m/>
展示期間 平成23年7月16日～10月16日



今回の展示では、千葉県にゆかりのある文学作品(東部図書館所蔵)をご紹介します。実は皆さんがお住まいの地域が話の舞台であったりするかもしれませんね。
千葉県立図書館では昨年、「県民の本棚～みんなが選んだ『ちばの一冊』」と題し、皆さんからたくさん本を推薦していただき、「県民の本棚～であい、ふれあい『ちばの100冊』～」として選定された本を、今年4月から巡回展示してきました。「ちばの100冊」で紹介された本のリストも併せてご覧いただくと、一層幅が広がります。

通番	書名	著者名等	出版者名	出版年	請求記号	場所
1	祖父のこと母のこと 青木玉対談集	青木 玉 [ほか]著	小沢書店	1997	9146/A77	一般書庫
2	天国までの百マイル	浅田 次郎 著	朝日新聞社	1998	9136/A320	一般書庫
3	荒れた海辺	安西 水丸 著	新潮社	1993	9136/A49	書庫CL
4	オー！ファーザー a family	伊坂 幸太郎 著	新潮社	2010	9136/I322	一般開架
5	ゴールデンランパー A MEMORY	伊坂 幸太郎 著	新潮社	2007	9136/I319	一般開架
6	死神の精度	伊坂 幸太郎 著	文藝春秋	2005	9136/I313	一般開架
7	重力ピエロ	伊坂 幸太郎 著	新潮社	2003	9136/I37	一般書庫
8	幻の朱い実 上・下	石井 桃子 著	岩波書店	1994	9136/I75/1・2	書庫CL
9	終の住処	磯崎 憲一郎 著	新潮社	2009	9136/I725	一般開架
10	ハーモニー	伊藤 計劃 著	早川書房	2008	9136/I723	一般開架
11	野菊の墓 (伊藤左千夫集)	伊藤 左千夫 著	あさひふれんど千葉	1990	C936/I71	郷土開架
12	吉里吉里人	井上 ひさし 著	新潮社	1981	9136/I79	一般書庫
13	ドン松五郎の生活 上・下	井上 ひさし 著	新潮社	1979	9136/I57/1・2	書庫CL
14	偽原始人	井上 ひさし 著	朝日新聞社	1979	9136/I76	一般書庫
15	四千万歩の男 (一)～(五)	井上 ひさし 著	講談社	1990	9136/I57/1-5	書庫CL
16	雨月物語	上田 秋成 著	三弥井書店	2009	91356/88	一般開架
17	がむしゃら1500キロ	浮谷 東次郎 作	筑摩書房	1977	916/U59	書庫CL
18	天地明察	冲方 丁 著	角川書店	2009	9136/U74	一般開架
19	鑑賞 房総の古典文学	江口 孝夫 著	崙書房	1985	C90/2	郷土開架

『四千万歩の男』井上 ひさし 著

伊能忠敬は、佐原村の婿養子先で財をふやし、50歳で隠居。その後、念願の天文学を学んだ。1800年、56歳の時から16年をかけて日本全土測量という大事業を成し遂げた。忠敬の一步一步は無味乾燥な一歩であるが、それが4千万回繰り返されると、途方もない大事業に結実する。

充実した人生を生きた忠敬の足跡を描く歴史大作。

『天国までの百マイル』浅田 次郎 著

会社も金も失ってしまった城所安男は、別れた妻への仕送りにも頭を悩ます日々を送っている。そんなある日、入院中の母を見舞った安男は、主治医から母の心臓が極めて危険な状態であることを知らされる。安男は天才的な外科医がいる千葉県鴨浦町の病院をめざして、百マイルの旅に出た。自己破産、離婚、子どもたちとの別れ、介護・終末医療といった現代社会を象徴する家族の問題を描く。

通番	書名	著者名等	出版者名	出版年	請求記号	場所
20	わたしが・棄てた・女	遠藤 周作 著	講談社	1968	9136/E59	書庫CL
21	プリズン・トリック	遠藤 武文 著	講談社	2009	9136/E415	一般開架
22	孤高のメス 上・下 外科医当麻鉄彦	大鐘 稔彦 著	栄光出版社	2005	9136/オト14/1・2	一般開架
23	生きる	乙川 優三郎 著	文芸春秋	2002	9136/オユ12	一般開架
24	かずら野	乙川 優三郎 著	幻冬舎	2001	9136/オユ11	一般開架
25	霧の橋	乙川 優三郎 著	講談社	1997	9136/オユ1	一般書庫
26	ジェネラル・ルージュの凱旋	海堂 尊 著	宝島社	2007	9136/カタ25	一般開架
27	チーム・バチスタの栄光	海堂 尊 著	宝島社	2006	9136/カタ20	一般開架
28	ひかりの剣	海堂 尊 著	文藝春秋	2008	9136/カタ29	一般開架
29	削除ボーイズ0326	方波見 大志 著	ポプラ社	2006	9136/カタ22	一般開架
30	俳句を読むということ 片山由美子評論集	片山 由美子 著	角川書店	2006	91130/368	一般開架
31	真間交遊録 宿鳥の散文詩	加藤 博理 著	日本文学館	2004	C936/カヒ1	郷土開架
32	歌人古泉千樞	北原 由夫 著	短歌新聞社	1999	C9116/キヨ1	郷土開架
33	栗本薫の里見八犬伝	曲亭 馬琴 作	講談社	2001	91356/42	一般開架
34	驟雨 (定本国木田独歩全集 第2巻)	国木田 独歩 著	学研	1995	91868/外1/2	一般書庫
35	武蔵野 (現代日本文学大系 11)	国木田 独歩 著	筑摩書房	1980	9186/12/11	一般開架
36	書く場所への旅	國中 治 著	れんが書房新社	2005	9146/ウオ1	一般開架
37	おとうと	幸田 文 著	中央公論社	1979	9136/コア5	一般書庫
38	初恋 (明治文学全集 17)	嵯峨の屋 おむろ 著	筑摩書房	1977	9186/13/17	一般書庫
39	房総の文学風土	坂本 哲郎 著	笠間書院	1980	C9026/3	郷土開架
40	解夏	さだ まさし 著	幻冬舎	2002	9136/サマ21	一般書庫
41	伊能忠敬を歩いた	佐藤 嘉尚 著	新潮社	2001	C936/サヨ2	郷土開架
42	スケッチブック	里川 憐菜 著	彩図社	2003	C9156/サレ1	郷土開架
43	アメンボ号の冒険	椎名 誠 著	講談社	1999	9136/シマ23	一般書庫
44	犬の系譜	椎名 誠 著	講談社	1988	9136/SH32	書庫CL
45	岳物語	椎名 誠 著	集英社	1985	9136/SH32	書庫CL
46	濡つくし 上・下巻	ジェームス三木 著	実業之日本社	1985	9136/J35/1・2	書庫CL

『足んこの歌 第3詩集』高野 つる 詩・絵

千葉県に生まれ、農業に従事してきた筆者の、飾らない言葉で綴られた詩の数々。形式やレトリックなどにはこだわらず、思うままを語りかけるように述べているのが印象的である。素朴でありながら力強さを感じさせる詩が多い。当時の農民や女性が置かれていた状況を知る上でもよい作品である。

『濡つくし』ジェームス三木 著

昭和60年にNHK連続テレビ小説で放映され、人気をアツめたドラマの原作。大正・昭和の銚子を舞台に描かれる純愛ドラマ。



通番	書名	著者名等	出版者名	出版年	請求記号	場所
47	暗夜行路 (日本文学全集 21)	志賀 直哉 著	筑摩書房	1970	9186/34/21	一般書庫
48	菜の花と小娘 (志賀直哉全集 第1巻)	志賀 直哉 著	岩波書店	1973	91868/シナ1/1	一般書庫
49	和解 (作家の自伝 28)	志賀 直哉 著	日本図書センター	1995	91026/23/28	一般書庫
50	燃えよ剣 (司馬遼太郎全集 6)	司馬 遼太郎 著	文芸春秋	1977	91868/シリ1/6	一般書庫
51	死の棘	島尾 敏雄 著	新潮社	1979	9136/SH43	書庫CL
52	奇跡の人	真保 裕一 著	角川書店	1997	9136/シユ2	一般書庫
53	更級日記	菅原孝標女 著	研究社出版	1992	91536/3	一般書庫
54	銀座諸事折々	鈴木 真砂女 著	角川書店	2000	9146/スマ4	一般開架
55	鈴木真砂女全句集	鈴木 真砂女 著	角川書店	2001	91136/スマ4	一般書庫
56	かくれみの街道をゆく 正岡子規の房総旅行	関 宏夫 著	崙書房出版	2002	C9136/セヒ1	一般書庫
57	漱石の夏休み帳 房総紀行『木屑録』	関 宏夫 著	崙書房出版	2009	C996/セヒ1	郷土開架
58	13階段	高野 和明 著	講談社	2001	9136/タカ21	一般書庫
59	足んこの歌 第2集 農村の母の詩集	高野 つる 著	小さな窓の会	1981	C9156/タツ1/2	郷土開架
60	足(あしよ)んこの歌 第3詩集	高野 つる 詩・絵	らくだ出版	2005	C9156/タツ1/3	郷土開架
61	風の盆恋歌	高橋 治 著	新潮社	1985	9136/タオ4	一般書庫

『風の盆恋歌』高橋 治 著

八尾の町に胡弓の音色が響く。越中おわら節を歌い、踊り歩く、一年に一度の「風の盆」。惹かれ合いながらも別々の人生を歩んできた二人が二十年の歳月を経て想い出の地、八尾で寄り添う。静かにお互いを思い合う姿が切ない小説。八尾の町を取り巻く音や色彩もとても印象的である。雪流水と呼ばれる疎水の水音、胡弓の音色や人々ののびやかな歌声。酔芙蓉の白や紅。白麻の蚊帳、藍色の浴衣、墨色の文字、紫の煙…。美しい表現にため息がもれる。



『大河の九姉妹』館 のり子 著

銚子の町に生まれた九人の姉妹。その九人の姉妹のたどった各々の人生を描いたノンフィクション。銚子やその近隣の地名や商店・学校などリアルな名前が次々に登場。当時の生活の様子や社会の状況なども、若い人には知らなかった昔の銚子を知ることになり、年配の方には昔を偲んで読んでもらえる作品。

62	蕪村春秋	高橋 治 著	朝日新聞社	1998	91134/19	一般開架
63	月光人魚伝説	高橋 順子 文・絵	飾磨屋書店	2006	9136/タシ36	一般開架
64	高橋順子詩集	高橋 順子 著	芸林書房	2002	91156/タシ26	一般書庫
65	智恵子抄 詩集	高村 光太郎 著	日本図書センター	1999	91156/タコ2	一般書庫
66	十五年間 (太宰治全集 9)	太宰 治 著	筑摩書房	1998	91868/タオ1/9	一般書庫
67	人間失格	太宰 治 著	新潮社	1981	9136/D49	書庫CL
68	走れメロス	太宰 治 著	新潮社	1987	9136/D49	書庫CL
69	大河の九姉妹	館 のり子 著	みやび出版	2008	9136/タ/23	一般開架
70	花	田宮 虎彦 著	新潮社	1964	9136/外1	一般書庫
71	ふさの国 文学めぐり	千葉県高等学校教育 研究会国語部会 編	富士出版印刷	2010	C9026/10	郷土開架

通番	書名	著者名等	出版者名	出版年	請求記号	場所
72	飯盛り大仏 船橋三番瀬物語	津賀 俊六 著	東銀座出版社	2007	C936/ツシ1	郷土開架
73	原子炉の蟹	長井 彬 著	講談社	1981	9136/N14	書庫CL
74	海を感じる時	中沢 けい 著	講談社	1980	9136/ナケ2	一般書庫
75	楽隊のうさぎ	中沢 けい 著	新潮社	2000	9136/ナケ18	一般書庫
76	ハラスのいた日々	中野 孝次 著	文芸春秋	1987	9146/N39	書庫CL
77	中村稔詩集	中村 稔 著	芸林書房	2003	91156/ナミ5	一般書庫
78	こころ	夏目 漱石 著	講談社	1979	9136/N58	書庫CL
79	凍える牙	乃南 アサ 著	新潮社	1996	9136/ノア1	一般書庫
80	九十九里叛乱	林 清継 著	東邦出版社	1972	C936/ハキ1	郷土開架
81	愛情 (日本の名随筆 53)	林 芙美子 著	作品社	1987	91468/N71/53	書庫CL
82	帽子と花束 上・下	葉山 修平 著	竜書房	2000	C936/ハシ3/1・2	郷土開架
83	亡国のイーゴス	福井 晴敏 著	講談社	1999	9136/フハ2	一般書庫
84	青の時代 (三島由紀夫全集 2)	三島 由紀夫 著	新潮社	2001	91868/ミユ3/2	一般書庫
85	友情	武者小路 実篤 著	新潮社	1953	9146/MU84	書庫CL
86	1Q84 BOOK1~3 a novel	村上 春樹 著	新潮社	2009-10	9136/ムハ36/1-3	一般開架
87	海風通信 カモガワ開拓日記	村山 由佳 絵と文	集英社	1996	C946/ムユ1	郷土開架
88	海を抱く Bad kids	村山 由佳 著	集英社	1999	9136/ムユ5	一般書庫
89	今生のいまが倖せ… 母、鈴木真砂女	本山 可久子 著	講談社	2005	91136/334	一般書庫
90	津軽百年食堂	森沢 明夫 著	小学館	2009	9136/モフ8	一般開架
91	草笛の音次郎	山本 一力 著	文芸春秋	2003	9136/ヤイ14	一般書庫
92	青べか物語	山本 周五郎 著	新潮社	1979	9136/Y31	書庫CL
93	真実一路 (山本有三全集 第8巻)	山本 有三 著	新潮社	1976	91868/ヤユ1/8	一般書庫

「こころ」夏目 漱石 著

大学生の「私」は夏休みを利用して房州に旅行をするが、その際同じ下宿に住む友人「K」を無理矢理誘う。その途中、お嬢さんに恋をしている「私」に「K」は「精神的に向上心のない者はばかだ」と言った。この言葉が後になって大きな意味を持つ。「K」は自殺してしまうが、その原因は自分にあるのではないかと「私」自身も思い悩む。「私」と「K」の心の動きが手に取るように描かれている。

「海風通信」村山 由佳 絵と文

鴨川で長いこと農業を営んでいた人気作家、村山由佳のエッセイ。可愛いらしいカットも入っていて、とても楽しく読める。鴨川での暮らしぶりや、自然の様子もわかり、ホッとすると1冊である。

今回ご紹介した作品以外にも、千葉県にゆかりのある文学作品はたくさんあります。例えば、次にご紹介する本にも詳しく書かれていますので、ぜひご覧ください。

『ふるさと文学館 第13巻 千葉』
祖田 浩一 責任編集(ぎょうせい)

『房総(千葉)学検定公式テキストブック』
ふるさと文化研究会 編(国書刊行会)

『房総文学事典』荒川 法勝 編(東京学芸館)

『房総文学散歩』鳥海 宗一郎 著(千秋社)

『房総を描いた作家たち』中谷 順子 著(暁印書館)
(五十音順)

なお、「県民の本棚〜であい、ふれあい『ちばの100冊』〜」のリストは県立図書館のホームページ上でご覧いただけます。

※お探しの本がございましたら、職員にご相談ください。